

5 認知症の方への関わり方

認知症の症状や進行は、人によって異なります。また、出来ないことに対する不安や心配に思う気持ちも人それぞれです。認知症の方は、思うように自分の気持ちを伝えることが難しい場面もあるため、認知症の方が本当に伝えたいことを理解しながら関わり、支えていくことが大切です。

介護者の声



＜認知症カフェ「にこにこカフェ」参加者 A さん＞
周りに相談出来ずにいたときはどうしていいか分からなくて、泣いていた時期もあった。
妻のことで色々な人に支えてもらってからは気持ちが楽になった。自分だけじゃないんだと思った。

＜認知症カフェ「にこにこカフェ」参加者 B さん＞
認知症の夫が、子どものように扱われることが悲しい。
認知症になっても、1人の人として扱ってほしい。
認知症について正しく知ってほしい。



認知症の方の不安な気持ちが解消されるようにみなさんでお手伝いをして、認知症の方やその家族の応援者になりましょう！

認知症の方の声



物忘れは気になるけど、
家族たちに支えられて
いるから安心！

できなくなることも多いけど、
できることもたくさんある！



周りの人に見捨てられたら
どうしよう。

1人で生きていける
だろうか。



周りの人の支えがあれば
普通の生活を楽しみながら
送ることができるよ！



本人の思いを 理解して 接しましょう

認知症の方に不安を感じさせないように
急がせずにゆっくり対応することが大切。



ごはんを食べたのに
「ごはんまだ？」
とたずねる

外出する予定を忘れて
何度も「どこに行くの？」
とたずねる

こんなとき…

認知症の方の中には、日々の生活に不安を感じている人もいます。不安を感じている人に対して「何回も同じこと聞かないで！」「さっきも言ったでしょ！」などと言ってしまうと、さらに不安な気持ちが大きくなります。本人の思いに耳を傾けて話を聞くようにしましょう。また安心感を持ってもらえるように目線を合わせて笑顔で対応しましょう。

否定せず、本人の思いを尊重して出来る
ことを生かせるように支えることが大切。

調理の手順や段取りが
出来なくなってきた

着替えることは出来ても
季節に合う服などを選ぶことが
難しくなってきた

本人を尊重して 出来ることを 活かしながら お手伝いしましょう



こんなとき…

今まで出来ていたことが出来なくなることに對して、本人は不安に思うことがあります。周りの人が代わりに行ってしまふことや、出来ないことに対する指摘は自尊心を傷つけることになりかねません。1人で行うことが難しい部分に對して、家族や周りの人がお手伝いをするなどの工夫をしましょう。